

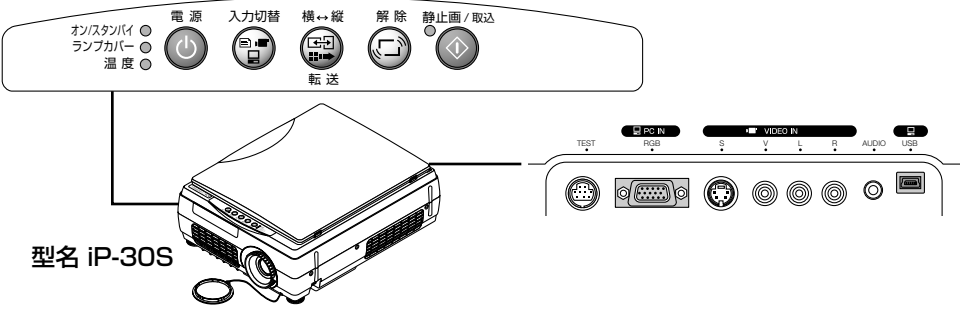
# iP Viewerソフトウェア クイックリファレンス

Version 1.3.XX (Xは任意の数字)

インテリジェントプロジェクタのiP Viewerソフトウェアの基本的な使いかたを記載しています。詳細については、iP Viewer取扱説明書をご覧ください。

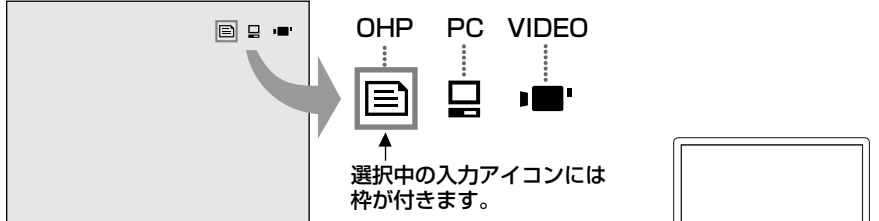
以降インテリジェントプロジェクタはプロジェクタ、iP ViewerソフトウェアをiP Viewerと略します。

## プロジェクタの各操作ボタンと接続端子

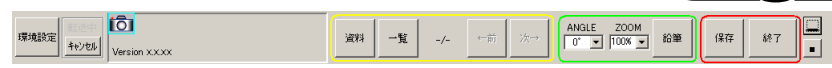


型名 iP-30S

## 入力選択のアイコン表示 (スクリーン)



## iP Viewerのステータスバー (パソコン)



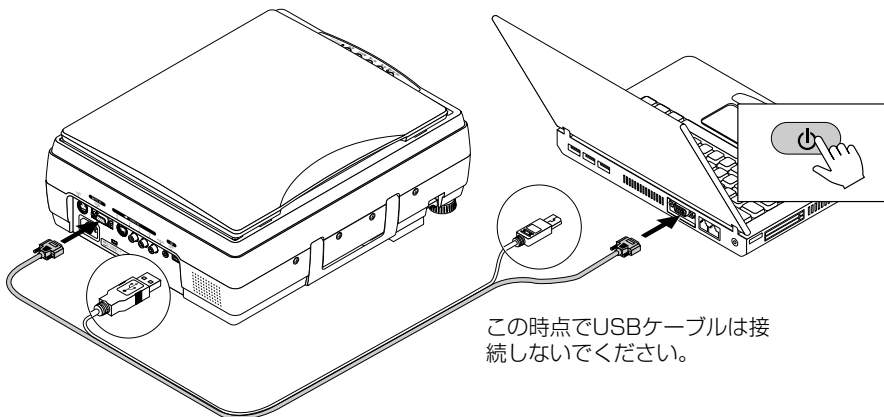
## ステップ1 接続とiP Viewerの起動

1 プロジェクタの電源を入れ、[PC] に切り替える。



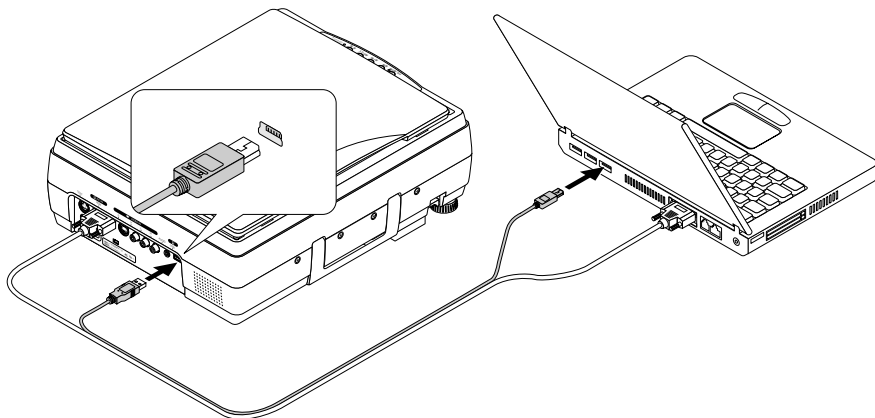
2 RGBケーブルを接続し、パソコンを立ち上げる。

プロジェクタ側とパソコン側でUSBコネクタの形状が異なりますので注意してください。プロジェクタにパソコンの画面が出ているかを確認してください。



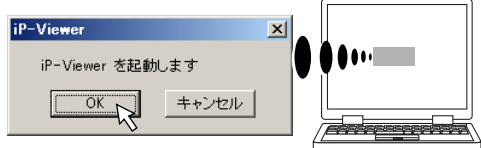
3 USBケーブルを接続する。

USB端子の向きに合わせて差し込んでください。



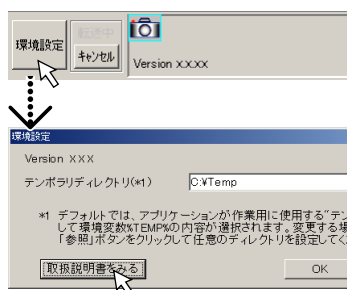
4 「iP Viewerを起動します」の画面を表示しますので [OK] ボタンをクリックする。

iP Viewerが起動します。



5 iP Viewer 取扱説明書はiP Viewerの[環境設定]画面の[取扱説明書を見る]ボタンをクリックして見ることができます。

iP Viewerは、パソコンにはインストールされません。プロジェクタとUSBケーブルで接続することで起動します。



## ステップ2 パソコンと接続してできること

OHP画面、パソコン画面、ファイルの登録投写や取り込み資料の加工等が行えます。

### ●OHP投写画面の保存 (スキャナ機能)

A4サイズまでの資料が登録できます。

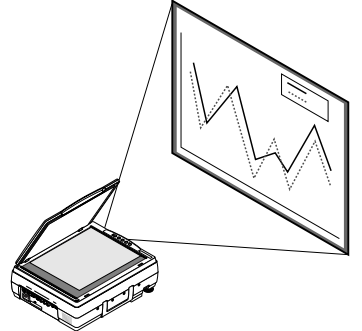
#### 《プロジェクタ側の操作》

(一旦プロジェクタのメモリに保存します)

1 入力を [OHP] に切り替える。



2 資料をガラス面にのせ、取り込み位置を調整する。



3 [静止画/取込] ボタンを押す。

取込中は投写画面上に“USB”を表示します。“USB”の表示が消えれば、次の資料の取り込みができます。

複数保存するには、2、3の手順を繰り返します。



4 入力を [PC] に切り替え [転送] ボタンを押すか、または入力が [OHP] のときは、[転送] ボタンを長押しします。

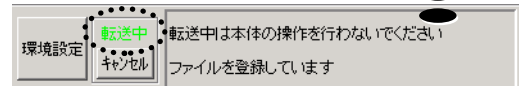
パソコンへの転送が始まります。



#### 《パソコン側の操作》

5 “転送中” が緑色表示する。

完了すると“転送中”の表示が消え (薄いグレイ)、赤字で“プロジェクタからのファイル転送完了しました”のメッセージが表示されます。



6 転送データを確認するには [一覧] ボタンをクリックして、一覧画面を表示させる。

もどる場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。表示したい資料をクリックすると全画面表示されます。

ご注意：一覧表示中はメニューバーのボタンは動作しません。



### ●PC画面の保存 (画面キャプチャ機能)

パソコンで表示しているエクセル、ワード、ブラウザ等の画面をキャプチャして登録します。

1 ステータスバーの [最小化] ボタンをクリックしてiP Viewerを最小化する。



2 アプリケーションを起動して保存したい画面を表示させる。



3 [画面キャプチャーツール] をクリックしてキャプチャする画面を一番前に表示させる。カメラアイコンをクリックすることによって後ろのウィンドウが一番前に出ます。



4 [取込] ボタンをクリックして登録する。カメラアイコンをクリックして、iP Viewer画面を前に出します。キャプチャした資料は一覧画面で (カメラ) マークが付きます。



5 再びiP Viewerを表示させる。

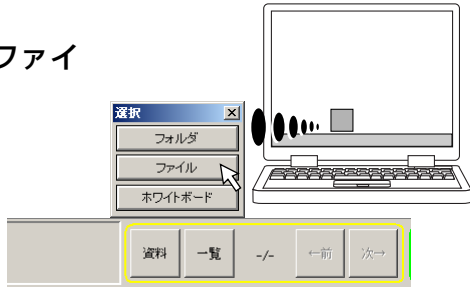
タスクバーの iP Viewer をクリックします。

・iP Viewerでキャプチャして保存したパソコンの画面はハードコピーした画面です。この画面でアプリケーションの操作は行えません。操作を行う場合はカメラアイコンをクリックしてアプリケーション画面に戻してください。



## ●画像ファイル、Powerpointファイルの取り込み

1 [資料] ボタンをクリックし、[ファイル] ボタンをクリックする。



2 画像ファイルやPowerpointファイルを選択し[開く] ボタンをクリックする。  
Powerpointファイルは、自動でJPEG形式に変換され、始めのページを投写します。

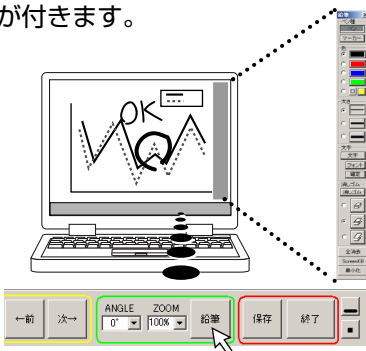


## ●取り込みデータの加工

鉛筆ツールを使用して登録した資料に線や文字を書き加える、向きを変える、大きさを変える、画像を移動する(投写画面より大きな画像の場合)ことができます。資料を加工(表示)すると加工後の画像が編集画像一覧に登録されます。元資料(原画)は、取込画像一覧に登録されています。一覧表示ではキャプチャーした資料にカメラマークが付きます。

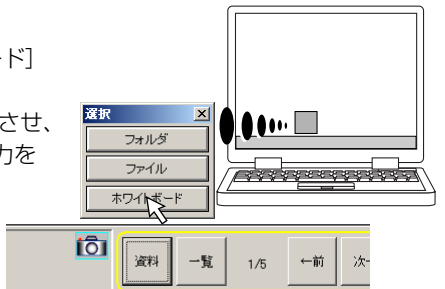
### 《投写資料に書き加える》

[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、ペンの太さや色を選択して描画します。文字をキーボードから入力することもできます。使いかたはiP Viewerの取扱説明書をご覧ください。



### 《ホワイトボードを表示し加工する》

[資料] をクリックし、選択画面の[ホワイトボード]を選択すると白画面を表示します。  
[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、鉛筆ツールを使って文字や線を描いたり、文字入力を行います。



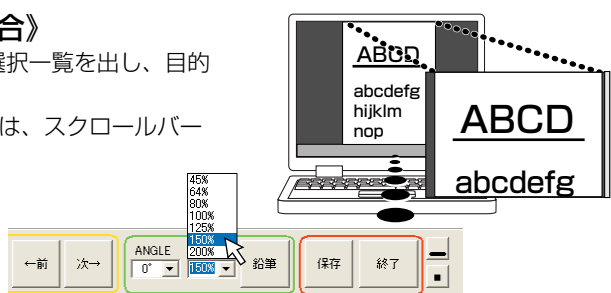
### 《資料の向きを変える場合》

ANGLEの[▼]をクリックして選択一覧を出し、目的の角度をクリックします。



### 《資料の大きさを変える場合》

ZOOMの[▼]をクリックして選択一覧を出し、目的の拡大率をクリックします。  
投写画面より大きく拡大した資料は、スクロールバーで位置の移動ができます。



## ステップ3 プレゼンテーションの実施

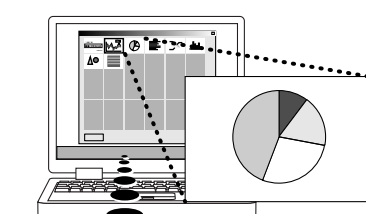
プレゼンテーションを実際に行う場合の操作の流れと要点を記載しています。

1 資料の登録を始めに行う。

- 登録には3通りあります。
- ・Powerpointファイル資料の場合：“ステップ2”の“画像ファイル、Powerpointファイルの取り込み”を参照
  - ・プロジェクトのOHPから取り込んだ画像を資料にする場合：“ステップ2”の“OHP投写画面の保存(スキャナ機能)”を参照
  - ・Powerpoint以外のアプリケーションを資料にする場合：“ステップ2”の“PC画面の保存(画面キャプチャ機能)”を参照

2 一覧表示から資料を選んで投写する。

[一覧] ボタンをクリックして一覧画面(サムネイル)を表示させ、目的の資料をクリックします。



3 ページを切り替える。

[次→] または [←前] ボタンをクリックして切り替えます。

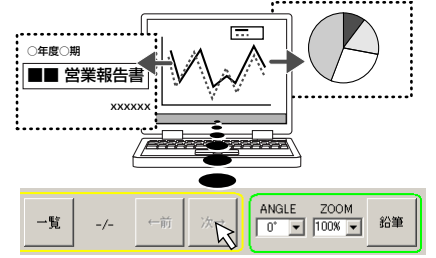


こんなとき……

会議中の投写資料に書き加える、向きを変える、拡大/縮小する場合：“ステップ2”の“取り込みデータの加工”参照

スライドショーとして使用する場合：

- 1) [資料] → [フォルダ] → [フォルダの参照] から対象フォルダを選択し、一括登録します。最初の資料が投写されます。
- 2) [次→] をクリックするごとに、ページが順に切り替わります。



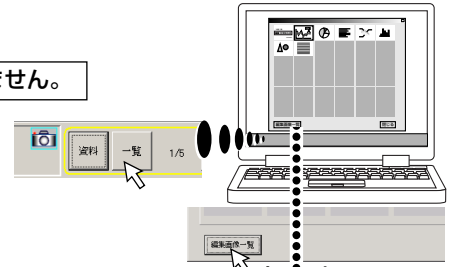
## ステップ4 プレゼンテーションの終了

### ●保存資料の確認と不要資料の削除

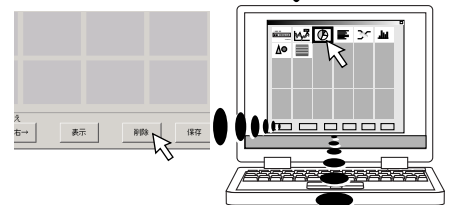
一覧より表示した資料は編集画像として残ります。

ご注意：一覧表示中はメニューバーのボタンは動作しません。

1 [一覧] ボタンをクリックし、取込画像一覧画面の[編集画像一覧] ボタンをクリックする。  
編集画像一覧画面を表示します。



2 不要な資料を削除するときは、不要資料をクリックし、[削除] ボタンをクリックする。  
編集画像一覧で表示している資料が保存操作で保存されます。



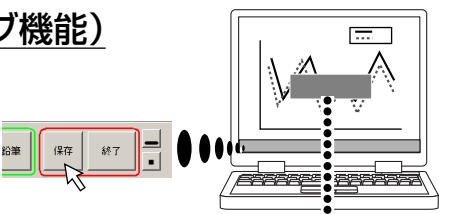
3 [閉じる] ボタンをクリックして一覧表示を閉じる。



### ●編集資料を保存する(データセーブ機能)

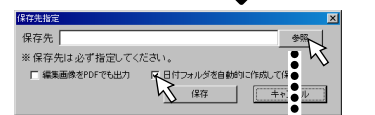
1 [保存] ボタンをクリックする。

保存先指定画面を表示します。  
前回の保存から変化がなかった場合は、終了画面を表示します(「終了する」参照)。



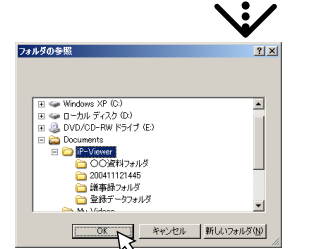
2 保存条件を選択する。

自動でフォルダを作成する場合は、“日付フォルダを自動的に作成して保存”にチェックを入れます。  
自分でフォルダを作成する場合は、チェックを外します。



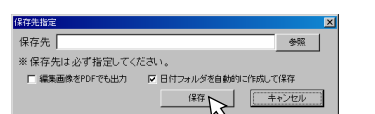
3 保存先を指定する。

[参照] ボタンをクリックするとフォルダの参照画面を表示します。  
保存するフォルダをクリックして[OK] ボタンをクリックしてください。  
チェックを外した場合は(自分でフォルダを作成)は[新しいフォルダの作成(M)]をクリックし、フォルダ名入力後[OK] ボタンをクリックしてください。



4 [保存] ボタンをクリックする。

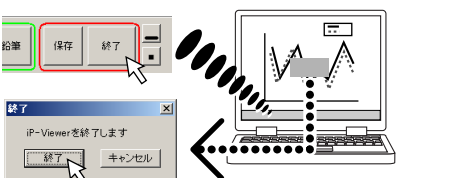
保存を開始し、保存先指定画面が閉じます。



### ●終了する

[終了] ボタンをクリックする。

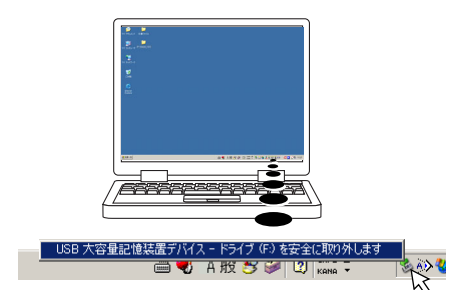
終了確認画面を表示します。  
確認画面の[終了] ボタンをクリックするとiP Viewerを終了します。



プロジェクトとパソコンの接続を外すときは、パソコン側でUSBデバイスとの切断操作を行ってください。

1 デスクトップ画面のタスクバー(右下)にある(切断アイコン)をクリックする。

- ① ドライブの選択表示から[USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ]を選択します。
  - ② [停止] をクリックします。
  - ③ [OK] をクリックします。
- ご使用のOSによっては表示が異なります。



2 “USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。”の表示が出たら安全に取り外すことができます。

